

きぼう

ほっかいどう やかんちゅうがく かい
「北海道に夜間中学をつくる会」
かいほう なんばー
会報 No. 8

第二回
北海道

じしゅ やかんちゅうがく せいかつたいけんはっぴょうかい 自主夜間中 学 生活体験発表会 かいさい が開催されました。

10月9日（日）、第2回北海道自主夜間中学「生活体験発表会」が開催されました。
会場は、札幌市男女参画センターエルプラザ4階大研修室です。
主催は、全道自主夜間中学交流会実行委員会です。実行委員長には、今西隆人（函館遠友塾 代表）さんが選任されました。札幌遠友塾、函館遠友塾、釧路「くるかい」、北海道に夜間中学をつくる会などから実行委員を募りました。後援は、北海道教育委員会、札幌市教育委員会です。当日の参加者は86名でした。



▲ 実行委員長挨拶



▲ 発表者

初めに、道内自主夜間中学の授業運営などをDVD映写などで紹介。それに続いて、札幌遠友塾2名、函館遠友塾2名、釧路くるかい2名の受講生や学習者さんたち6名（2名はDVDを通じた発表）がそれぞれ自主夜間中学の学びの場にいたる思い、学

たの はっぴょう
びの楽しさを発表しました。

発表を終えて、会場の参加者と感想や意見などの交流をおこないました。ここでは、旭川遠友塾の受講生とスタッフがそれぞれ感想と意見を述べてくれました。

はっぴょう ひょうだい はっぴょうしゃ しょうかい はっぴょうじゅん
発表の表題と発表者の紹介(発表順)

やかんちゅうがく まな
「夜間中学に学ぶ」

「遠友塾での学び」

きのう きょう あした
「昨日 今日 そして明日」

しごと
「仕事をして50年」

わたし
「くるかいと私」

「私のあしあと」

くろだ しょうじ
黒田 正二さん (函館遠友塾)

すどう きみこ
須藤 君子さん (函館遠友塾)

かわむら
川村 チエさん (釧路くるかい)

たかはし
高橋 トコさん (札幌遠友塾じゅくりクラス)

おがわ くしろ
小川 サヨ子さん (釧路くるかい)

いわふね
岩船 とよさん (札幌遠友塾3年)

さんかしや みな まえむき しせい い かた ささ なん
参加者からは、「皆さんの前向きな姿勢、生き方を支えているのは何なのでしょう
か。学ぶことは誠実を胸に刻むことだと感じました。まわりの人に与える影響が大きい
ことと思います。自主夜間中学がそれらを支える場であり続けることを期待しま
す。」と励ましがありました。

この交流会は、受講生や学習者さんたちが苦しいけれど自分の言葉で自分の思い
をたくさんの人に伝えるという、そうすることで、いままで自分が生きてきたことを
確認することになり、これから一歩踏み出す大きな力になるものと思います。そし
て、それぞれの発表が、聞いている人たちにも、自分にひきつけて考え、そこから勇気
をもらうことができる、との司会のまとめで閉会しました。

こんかい はっぴょうかい どうないかくじしゅやかんちゅうがく じっこういん つの かい
今回の発表会は道内各自主夜間中学から実行委員を募り、4回におよぶ実行委員
会を開催しながら、それぞれの自主性を尊重し、そして普段の授業・学習の成果を
発表する場となりました。

らいねん ほっかいどうじしゅやかんちゅうがくせいかつたいけんはっぴょう くしろ よてい
そうして来年は、「北海道自主夜間中学生生活体験発表in釧路」として開催を予定し
ております。

はっぴょうかい きろくし きぼう かた れんらく
なお、発表会については、それを「記録誌」にまとめましたので、ご希望の方は連絡
をいただくと送付いたします。

れんらくさき
連絡先: 〒004-0004

さっぽろしあつべつくあつべつひがし じょう ちょうめ いずみ まさと
札幌市厚別区厚別 東4条5丁目9-23 泉 雅人

TEL&FAX 011-897-1426

ししゅつほうこく
【支出報告】

こんかい せいかつたいけんはつびようかいひよう ほっかいどう やかんちゅうがく かい よさんか きんがく
今回の生活体験発表会費用は、北海道に夜間中学をつくる会が予算化した金額を
きそがく こ じっこういんかい こうせい かくじしゅ あんぶん
基礎額として、それを超えた金額を実行委員会を構成した各自主夜間中学に按分して
ふたん
負担することにしました。

しかし実際は、その費用内に収まりましたので各自主夜間中学の負担はありません
でした。

らいねん こうりゅうかいかいさい ほんねん ししゅつきんがく
来年、交流会開催の費用については、本年の支出金額をもとに各自主夜間中学が
よさんか じっこういんかいこうせいだんたい おうぶんふたん かくにん
予算化し、実行委員会構成団体で応分負担することの確認をしております。

2011 全道自主夜間中学交流会 支出報告

会場費	会場費	7,000	
	会議室借料	1,100	かでのる2・7
	マイク代	5,500	
	計	13,600	
事務用品費	用紙、テープなど	2,733	
	計	2,733	
郵送費	メール便、切手	38,780	
	計	38,780	
印刷費		500	
	計	500	
交通費・宿泊費	釧路	52,600	(発表者2名、スタッフ1名)
	函館	11,000	(スタッフ4名)
	旭川	3,200	(受講生1名、スタッフ1名)
	計	66,800	
発表者夕食代	懇親会	10,500	(3名分)
お茶代		565	(発表者)
	計	11,065	
	合計	133,478	①
用紙、印刷費	記録誌用	23,000	
郵送費	記録誌用	3,800	(釧路、函館、旭川分)
	計	26,800	②
	①+②	160,278	

計 報

とうかい
当会、会計担当
みぞぐち ひでお
溝口英生さんが、
ほんねんしがつ びようき
本年四月に病気で亡
くなられました。
ここに故人のご
めいふく
冥福を、つつしんで
いの
お祈りいたします。

しりょう
資料

がつ にち きん さっぽろしちょう はな あ
11月25日(金)、札幌市長と話し合いをおこなっております。その
ため、事前に提出した「話し合いの趣旨」を資料として載せます。

2011/11/07

う え だ さ っ ぽ ろ し ち ょ う さ ま
上田札幌市長 様

は な あ し ゅ し
話し合いの趣旨

さ っ ぽ ろ え ん ゆ う じ ゅ く じ し ゅ や か ん ち ゅ う が く
札幌遠友塾 自主夜間中学
ほ っ か い ど う や か ん ち ゅ う が く かい
北海道に夜間中学をつくる会

た ぼ う せ き も う かん し ゃ
ご多忙のなか、わたしたちとの話し合いの席を設けていただき感謝し
ております。

さ く ね ん き ょ う ど う じ ゅ ょ う さ っ ぽ ろ し
昨年の上田市長と「共同事業」についての話し合いのあと、札幌市
き ょ う い く い い ン かい し ょ う が い が く し ゅ う ぶ す い し ン か ち ょ う けん かい し め
教育委員会生涯学習部推進課長は、つぎのような見解を示されました。

さ っ ぽ ろ し り つ こ う り ょ う ち ゅ う が つ こ う き ょ う し つ り ょ う さ っ ぽ ろ し き ょ う い べ ん ぎ
「札幌市立向陵中学校の教室利用については、札幌市教委の『便宜
き ょ う よ さ っ ぽ ろ え ん ゆ う じ ゅ く か つ ど う たい せ き に ン
供与』であるが、市教委は札幌遠友塾の活動に対して責任をもっている
にん し き が く し ゅ う か ん き ょ う せい び
と認識している。そのため、札幌遠友塾の学習環境の整備について、
できることとできないことがあるが支援をしていく。また、いまはまっ
た く な い 話 だ が は な し かり こ う り ょ う ち ゅ う が つ こ う き ょ う し つ つ か
たくない話だが、仮に向陵中学校の教室が使えなくなるようなとき
は、同 等 の 条 件 で 別 の 学 校 を 使 え る よ う に す る 。

けん かい お も じ ゅ こ う せい
わたしたちはこの見解をとともうれしく思い、遠友塾受講生やスタッ
フ に 報 告 し ま し た 。 さ ら に 、 道 内 外 の 自 主 夜 間 中 学 や 公 立 夜 間 中 学 な ど
ほう こ く どう な い が い じ し ゅ や か ん ち ゅ う が く こ う り つ
にも、この情報を発信しました。
じ ょ う ほう は つ し ン

かい じ ょ う か く ほ かい けい も ん だ い し ん ば い
また、このことはわたしたちにとって、会場確保や会計の問題を心配
ま な ぼ じ ゅ う じ つ む じ ゅ ぎ ょ う う ん え い せん ね ん
することなく、学びの場の充実に向けた授業運営に専念することがで

きます。

遠友塾スタッフは授業の充実のために、科目や時間数の増加、向陵
中学校生徒や教職員、PTA との交流、地域住民との公開授業や
受講生発表会などの行事について、これまで何度か検討を重ねその実現
を望んでおります。また、遠友塾受講生からも同様のことを直接および
アンケートで意見を聞いております。

本年、わたしたちが提出した札幌市長選挙立候補予定者への公開
質問状に、上田市長は、「さまざまな事情で十分な教育を受けられな
かった方に、一人ひとりの状況に応じ自分の持てる力を発揮できるよ
う社会全体で支える必要がある。」と回答されました。

この言葉は、「社会に生きるということが、これほどまでにつらい営み
になっている」といわれるいま、人が一緒に生活している、共に生きる・
共に生きている、という社会のあり方へ示唆を与えております。

そこからは、夜間中学が地域コミュニティの大切な存在になることで、
そのような社会を成すことになり、市民がそれを共に引き受け生きる
「市民自治の力」につながり、教育の共同体自治になるとわたしたち
は考えております。

そこでわたしたちは、上田市長の「まちづくりの考え方」および生涯
学習部推進課長の見解から、札幌市生涯学習の推進に夜間中学の授業
運営を位置づけることを趣旨とする話し合いをおこないたい所存です。

さらに昨年（さくねん）の話し合い（はな）で、上田市長（あ）は民間（みんかん）・商工会議所（しょうこうかいぎしょ）などと連携（れんけい）
した夜間中学（かいせつ）の開設（のべ）について述べられました。

わたしたちはそのお考え（こうそう）を構想（じつげん）にし、実現（みちすじ）のために道筋（みちすじ）をつけていく
とすれば、なにが（よ）でき（よ）どのようなこと（よ）をすれば（よ）良いのか（よ）についても、話
し合（おも）いたい（おも）との思い（おも）で（おも）おります。

以上（いじょう）のこと（こと）、よろしく（ねが）お願い（ねが）します。

はな あ どうじつ さつぼろしちょう きょういくいいんかいきょういくちょう しょうがいがくしゅうぶちょう
話し合い当日、札幌市長、札幌市教育委員会教育長、生涯学習部長、生涯学
習部生涯学習推進課長が出席されました。

この市長との話し合いは、3年間続けられています。

【内容のまとめ】

1. 学校との関係については、市教育委員会が窓口として遠友塾の
情報提供を学校側に行い、夜間中学としての授業運営を支援す
る。
2. 学校や地域との交流については、市教育委員会としても学校など
と調整し検討していく。
3. 市長、市教育委員会ともに、遠友塾の夜間中学校としての役割や活動
の意義を積極的に理解しており、今後も遠友塾と市長、市教育委員
会との話し合いを継続させてゆく。

こののち、12月9日（金）、札幌市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課と
札幌遠友塾、北海道に夜間中学をつくる会との窓口交渉をおこなっております。
その上で、上記内容の確認と具体的にできることについて話し合いをしております。

1. 札幌市教育委員会のホームページに、年2回ほど札幌遠友塾の活動を載せるこ
とができないだろうか。
2. 学校長期休暇や土曜日に、遠友塾の特別授業などをおこない、そうすれば、学校
の生徒や教師、地域の人々に参加を呼びかけることができるのではないら
うか。
3. 遠友塾受講生に、理科の授業を望む声があるので、学校の理科室を使うこと
ができないだろうか。

なおこれらのことで、向陵中学校に関することは後日、札幌市教委と向陵
中学校、札幌遠友塾・北海道に夜間中学をつくる会との三者協議を開いて話し
合います。

市教委としては、教室に網戸をつけることは、多額な費用がかかるが、その予算
見積もりをふくめ、実現のために何らかの結論を12月年内に出す意向を示した。

ねん がつふつか きん みつか ど
2011年12月2日（金）・3日（土）

だい かいぜんこく やかんちゅうがっこうけんきゅうたいかいさん かほうこく 第57回全国夜間中学校研究大会参加報告

ひがしおおさかしみんかいかん
— 東大阪市民会館 —

ほっかいどう やかんちゅうがく かい めい いいつか くどう ふなき さつぽろえんゆうじゅくじゅこうせい
北海道に夜間中学をつくる会3名（飯塚、工藤、船木）と札幌遠友塾受講生2名、
ごうけい きんか
スタッフ2名の合計7名で参加しました。

にちめ
1日目（12月2日）：

ぜんたいかい
全体会A

こうえん やかんちゅうがくせい せいかつ がくしゅう
講演「ミネルヴァのふくろうたち—夜間中学生の生活と学習—」

りょういきべつぶんかかい だい ぶんかかい ぞうせつ きょういくじょうけん けいはつかつどう
領域別分科会 第5分科会「増設・教育条件・啓発活動」（飯塚・船木）

とくべつぶんかかい やかんちゅうがく げんじょう
特別分科会「夜間中学の現状から」（工藤）

ひと ぎ むきょういく かくだいせんもんいんかい
「すべての人に義務教育！拡大専門委員会」（飯塚・工藤・船木）

ぎ むきょういくとうがくしゅうきかいじゅうじつほうあん ぎいんりつほう ていしゆつ むけ
義務教育等学習機会充実法案の議員立法としての提出に向けて

がっこうけんがく ひがしいくのちゅうがっこう
学校見学 東生野中学校（飯塚・工藤・船木）



ぜんたいかい
▲全体会A

ふつ かつめ

2日目 (12月3日) :

せいとたいけんはつびよう じしゅやかんちゅうがく ほうこく いいづか くだう ふなき
生徒体験発表と自主夜間中学の報告 (飯塚・工藤・船木)

さっぽろえんゆうじゅく じゅぎょううんえい ほっかいどう かいかつどう
札幌遠友塾の授業運営・北海道に夜間中学をつくる会活動報告

きょうかべつほうこくかい すうがく しゃかい せいとこうりゅうかい
教科別報告会 数学 (工藤)・社会 (飯塚)・生徒交流会 (船木)

ぜんたいかい
全体会B



せいとこうりゅうかい き ざいにち せいと がっしょう
▲生徒交流会 (チマチョゴリを着た在日コリアン生徒たちのアラン合唱)

あさのしんいち こうべだいがく こうえんないよう
浅野慎一 (神戸大学) さんの講演内容

この講演は、公立夜間中学 (30校・1,048名) と自主夜間中学 (10校・102名) のアンケート回答に基づいておこなわれました。(札幌遠友塾では、時間の制約から、求められたアンケートの回答はおこなっておりません)

「ミネルヴァのふくろうは黄昏に飛び立つ」の意味することは、①一つの時代が黄昏・終焉を迎えようとする時、人ははじめてその全貌を知ることができ、②その際、手垢の付いた信念・理念の声高な主張ではなく、“生きた現実”から学ぶことの必要性です。

1969年を境に、それ以前の「学齢・長期欠席者」の日本人から、在日コリアン、韓国・中国の引揚帰国者、就学猶予・免除障がい者、不登校経験者など、国家や民族を越境した生徒数激増になる。

そのことは、識字、日本語、学習歴、生活の必要に応じた多種多様な教育が求められることでもある。

夜間中学生の基本属性と言語環境から、アンケート回答者を四つの系、日本系 (24%)、在日コリアン系 (23%)、中国帰国系 (20%)、新渡日系 (33%) に

くぶん
区分します。

この4系いずれもが、①識字・日本語の壁、②経済的貧困（過去も現在も）、
③社会関係の希薄さや孤立、という多様な問題を抱えている。

夜間中学生が、学校に通って良かったと思うことは、「いい先生に出会えた」
(77%)、「仲間・友達ができた」(56%)、「読み書きができるようになった」(62%)、
と回答している。このように夜間中学生は、幅広い領域にわたって夜間中学を
評価している。

その上で、「夜間中学でもっとこうしてほしいと思うこと」とう質問には、「夜
間中学があることを、もっとたくさんの人に知らせてほしい」(44%)、「中学を
卒業した人も、入学させてあげてほしい」(22%)、「奨学金・就学援助金が
ほしい」(30%)、と回答しているように、「普通教育・学習権の実現」として
の夜間中学の意義を見出している。

これまでの歴史と現状から、「夜間中学を存続させ、夜間中学のあり方を決定
してきた最大の主体は生徒自身である」、と夜間中学の未来を、夜間中学が
「全人格的・普遍的な人間発達を求める普通教育」であり続けること、「細分化
された専門科目の知識、道具的・手段的な日本語の習得を、目的化しないこと」、
と示します。

ミネルヴァのふくろうたちは、「今後も黙々と、『国籍&能力による差別・排除』
の壁を、掘り崩しつつある。」と、講演者は話を結びました。

「すべての人に義務教育を！専門委員会」拡大委員会の報告

この拡大委員会は、北海道に夜間中学をつくる会および札幌遠友塾などが、
専門委員会の構成を公立夜間中学だけでなく、自主夜間中学にも広げてほしいと
いう要望にもとづいて、設置されました。

今回、この拡大委員会では全国夜間中学校研究会が自主夜間中学をふくめ、
「すべての人に義務教育を」のための法的整備をはかるため、議員立法として
提出しようとする法案について、その条項を確認しました。

法案の名称「義務教育に相当する学校教育等の環境の整備の推進による
学習機会の充実に関する法律案」（義務教育学習機会充実法案）

この法案を成立、実現するため、全国レベルの新たな取り組みや、自主夜間中学
との協力関係、地方での国会議員への働きかけなどを話し合いました

☆ ^{かつどう ほうこく} **活動の報告** ☆

(活動報告は、<http://yakanchugaku.enyujuku.com/> ^{けいさい} に掲載しております)

^{ねん ど}
2011年度

^{がつ にち ど} 5月28日(土): ^{だい かい ほうかいどう やかんちゅうがく かいそうかい} 第5回 北海道に夜間中学をつくる会総会
^{しゅつせきしゃ いにんじょうていしゅつ せいりつ}
(出席者35名、委任状提出85名で成立)

^{えいが じょうえい}
映画「こんばんは」上映 (86名の参加)

^{そうかい かつどうほうしん よさん やくいんせんしゅつ すべ ぎあん かけつ}
総会は、活動方針、予算、役員選出など全ての議案が可決されました。

^{ぜんどう じしゅ やかんちゅうがく かだい かいけつ じゅこうせい こうりゅう ふか}
全道の自主夜間中学の課題を解決し、受講生やスタッフたちの交流を深め

^{かつどうほうしん}
ていくことを活動方針としております。

^{もく ねん ど だい かいじむきょくかいぎ}
6月16日(木): 2011年度 第1回事務局会議

- ^{そうかい はんせい}・第5回総会の反省
- ^{かつどう さいたく ほうしん けんどう}・これからの活動 (採択された方針の検討)
- ^{ぎかい ぎょうせい あいさつ}・議会や行政への総会報告と挨拶まわり

^{すい さっぽろしぎかい かくかい はぶんきょういん そうかいご あいさつ}
6月22日(水): 札幌市議会各会派文教委員に総会後の挨拶まわり

^{みんしゅどう こうめいどう きょうさんどう しみん}
(民主党、公明党、共産党、市民ネット)

^{さっぽろしぎかい かくかい はぶんきょういん そうかいご あいさつ}
6月23日(木): 札幌市議会各会派文教委員に総会後の挨拶まわり

^{じみんどう}
(自民党)

^{せいかつたいけんはつびょうかい じつこういん かいほっそく}
6月25日(木): 生活体験発表会実行委員会発足

^{さっぽろしきょうい}
6月29日(水): 札幌市教委への総会報告および挨拶

^{なのか だい}
7月7日(木): 第2回事務局会議

^{はつ か}
8月20日(土): 生活体験発表会第2回実行委員会

- がっ にち
8月25日(木): だい かいじむきよくかいぎ
第3回事務局会議
- とう か
9月10日(土): せいかつたいけんはっぴょうかい じっこういいんかい
生活体験発表会第3回実行委員会
- 9月29日(木): じむきよくかいぎ
第4回事務局会議
- むいか きん
8月6日(金): じみんとう はな あ
自民党と話し合い
- ここのか
10月9日(日): ほっかいどうじしゅやかんちゅうがく
第2回北海道自主夜間中生活体験発表会
- 10月20日(木): 第5回事務局会議
- 10月21日(金): 生活体験発表会第4回実行委員会
- 11月17日(木): 第6回事務局会議
- 11月25日(金): さっぽろしちょう
札幌市長との話し合い
- ふつか みつか
12月2日(金)・3日(土): ぜんこくやかんちゅうがっこうけんきゅうたいかいさんか
第57回全国夜間中学校研究大会参加
- 12月9日(金): さっぽろしきょういくいいんかい まどぐち
札幌市教育委員会と窓口レベルの話し合い
- 12月22日(木): 第7回事務局会議

じむきよくかいぎ かいさい
事務局会議の開催

- : 事務局会議は毎月第1週の木曜日、午後6時半から開催しています。
- : 場所は、札幌市男女参画センターエルプラザ2階会議コーナーです。
- : 「北海道に夜間中学をつくる会」の事務所
札幌市男女参画センターエルプラザ事務ブース No. 16
〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目

れんらくさき じむきよくちょう いずみ まさと
連絡先: 事務局長 泉 雅人

住所 〒004-0004
札幌市厚別区厚別東4条5丁目9-23
TEL&FAX 011-897-1426

ほっかいどう やかんちゅうがく かい 「北海道に夜間中学をつくる会」URL	http://yakanchugaku.enyujuku.com/
さっぽろえんゆうじゅくじしゅ やかんちゅうがく 「札幌遠友塾 自主夜間中学」URL	http://enyujuku.com/
くしろ 釧路自主夜間中学「くるかい」URL (「つくる会」ホームページにリンクしています)	http://kurukai08.exblog.jp/

はっこう ねん がつ にち
発行 2011年12月22日